



第3回日本木材保存協会功績賞

「注入処理木材の耐久性確保に関する研究と木材保存普及
広報活動への貢献」

栗崎 宏（富山県農林水産総合技術センター 木材研究所）

1982年京都府立大学農学部を卒業後、1985年京都大学大学院農学研究科修士課程を修了し、1985年に吉富製菓株式会社に入社し、その後1994年富山県林業技術センター木材試験場（2002年に富山県農林水産総合技術センター木材研究所と組織変更）に勤務し、現在に至る。

業 績 概 要

保存処理木材の耐久性をより確実なものにするための処理技術や利用技術の研究を進めています。水性薬剤による温冷浴、廃食用油を用いた保存剤の開発などの新しい保存処理技術を開発するとともに、人工乾燥の熱や干割れによる保存処理木材の防腐性能の低下を明らかにし、その対策を研究してきました。また、接合面や釘孔内部など木材が劣化しやすいゾーンに注目し、新規非接地曝露試験のダブルレイヤー法をいち早く開始するとともに、金属銅の腐朽抑制効果を応用した内部腐朽対策にも取り組んでいます。

日本木材保存協会との関わりでは、2001年より年次大会運営委員、2005年から2009年までは運営委員長として5回の年次大会を運営し、木材保存協会の情報発信活動に貢献しました。2012年から2017年には、木材保存士委員会委員長として、受験者へのアンケート調査や会場や制度の見直しなどに取り組み、保存士の将来的な役割を模索しました。この他にも2009年からは診断メンテ委員会、2010年から耐久性調査委員会など多くの委員会活動に参画し、協会の調査・研究と普及・広報に貢献しました。

研 究 概 要

- 1) 栗崎宏, 水本克夫: 発色処理による高温乾燥スギ (*Cryptomeria japonica* D. Don) 材の心・辺材の識別法, 木材保存, **26** (2), 14-21 (2000).
- 2) 栗崎宏, 塚本英子, 水本克夫: 高温乾燥したスギ心材のオオウズラタケに対する耐朽性, 木材保存, **27** (2), 61-66, (2001).
- 3) 栗崎宏, 塚本英子, 水本克夫: 人工再乾燥が加圧注入処理材の品質に及ぼす影響 - 防腐成分の熱安定性について -, 第15回日本木材保存協会年次大会研究発表論文集29-35, (1999).
- 4) 栗崎宏, 矢田茂樹, 熊谷元, 小原誠: 廃食用油銅石鹼の非接地における防腐性能 - ダブルレイヤー法と野外曝露評価 -, 第57回日本木材学会大会, PN-008 (2007).
- 5) Kurisaki H, Nakatani H, Mizumoto K: Inspection method of surface checking on Sugi posts, IRG/WP03-20272 (2003).
- 6) Kurisaki H: Effect of kerfing on preventing the surface checking and reducing inner decay risk in Sugi post, 3rd International Symposium on Surface and Finishing of Wood, 336-341 (2004).
- 7) 栗崎宏: AAC温冷浴処理による簡易防腐処理の検討 (第1報), 木材保存, **30** (6), 250-258 (2004).
- 8) 栗崎宏, 清水秀丸, 築瀬佳之, 藤井義久, 瀬川真未, 中野ひとみ: 伝統的木構造物で使用される銅金物の劣化抑制への寄与 (第1報) - 京都三条大橋欄干の蛍光 X 線分析 -, 木材保存, **41** (6), 256-263 (2015).